

9

[東北大]

$a$  を実数とし、数列  $\{x_n\}$  を次の漸化式によって定める。

$$x_1 = a, \quad x_{n+1} = x_n + x_n^2 \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

- (1)  $a > 0$  のとき、数列  $\{x_n\}$  が発散することを示せ。
- (2)  $-1 < a < 0$  のとき、すべての正の整数  $n$  に対して  $-1 < x_n < 0$  が成り立つことを示せ。
- (3)  $-1 < a < 0$  のとき、数列  $\{x_n\}$  の極限を調べよ。

10

[筑波大]

数列  $\{a_n\}$  を  $a_n = \frac{1}{2^n}$  ( $n = 1, 2, 3, \dots$ ) で定める。以下の問いに答えよ。

(1)  $t > 0$  のとき,  $1 \leq \frac{e^t - 1}{t} \leq e^t$  であることを示せ。

(2) 数列  $\{x_n\}$ ,  $\{y_n\}$ ,  $\{z_n\}$  を

$$x_n = \log(e^{a_n} + 1), \quad y_n = \log(e^{a_n} - 1), \quad z_n = y_n + \sum_{k=1}^n x_k \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

で定める。 $z_n$  は  $n$  によらない定数であることを示せ。

(3)  $\sum_{k=1}^{\infty} \log\left(\frac{e^{a_k} + 1}{2}\right)$  を求めよ。

9

[東北大]

- (1)  $x_1 = a$ ,  $x_{n+1} = x_n + x_n^2 \cdots \cdots$  ①で定められる数列  $\{x_n\}$  に対して,  $a > 0$  のとき,

$$x_{n+1} - x_n = x_n^2 \geq 0$$

これより  $\{x_n\}$  は単調に増加し,  $x_n \geq x_1 = a > 0$  となるので, ①から,

$$x_{n+1} \geq x_n + a^2$$

よって,  $x_n \geq x_1 + (n-1) \cdot a^2 = a^2 n + a - a^2$  から,  $\lim_{n \rightarrow \infty} x_n = \infty$  となる。

- (2)  $-1 < a < 0$  のとき,  $-1 < x_n < 0$  が成り立つことを, 数学的帰納法で示す。

(i)  $n=1$  のとき  $x_1 = a$  で,  $-1 < a < 0$  から成立している。

(ii)  $n=k$  のとき  $-1 < x_k < 0$  であると仮定すると, ①より,

$$x_{k+1} = x_k + x_k^2 = \left(x_k + \frac{1}{2}\right)^2 - \frac{1}{4}$$

すると,  $-1 < x_k < 0$  から  $-\frac{1}{4} \leq x_{k+1} < 0$  となり,  $-1 < x_{k+1} < 0$  である。

よって,  $n=k+1$  のときも成立する。

(i)(ii)より, すべての正の整数  $n$  に対して,  $-1 < x_n < 0$  が成り立つ。

- (3)  $-1 < a < 0$  のとき, (2)から  $-1 < x_n < 0$  となり, ①より,

$$\frac{1}{x_{n+1}} = \frac{1}{x_n + x_n^2} = \frac{1}{x_n(x_n + 1)} = \frac{1}{x_n} - \frac{1}{x_n + 1}$$

すると,  $-\frac{1}{x_{n+1}} = -\frac{1}{x_n} + \frac{1}{x_n + 1}$  となり, ここで  $y_n = -\frac{1}{x_n}$  とおくと,

$$y_{n+1} = y_n + \frac{1}{x_n + 1} \cdots \cdots \text{②}$$

さて,  $0 < x_n + 1 < 1$  から  $\frac{1}{x_n + 1} > 1$  となり, ②より,

$$y_{n+1} > y_n + 1$$

すると,  $y_1 = -\frac{1}{a}$  より,  $n \geq 2$  で,  $y_n > y_1 + (n-1) \cdot 1 = n - \frac{1}{a} - 1$

よって,  $\lim_{n \rightarrow \infty} y_n = \infty$  となるので,  $\lim_{n \rightarrow \infty} x_n = \lim_{n \rightarrow \infty} \left(-\frac{1}{y_n}\right) = 0$  である。

### [解説]

漸化式で定められた数列の極限の問題です。一般項は求まらないタイプです。(1)と(2)については, 方針を立てるのに困難はありませんでしたが, (3)は結論がすぐに予測できるものの, 定型的な処理ではうまくいかず, いろいろ考えてしまいました。

10

[筑波大]

(1)  $f(x) = e^x$  とすると  $f'(x) = e^x$  となり,  $0 \leq x \leq t$  で平均値の定理を用いると,

$$\frac{f(t) - f(0)}{t - 0} = f'(c) \quad (0 < c < t)$$

すると,  $\frac{e^t - 1}{t} = e^c$  となり,  $1 = e^0 < e^c < e^t$  から,  $1 \leq \frac{e^t - 1}{t} \leq e^t$  である。

(2)  $a_n = \frac{1}{2^n}$  より,  $n \geq 2$  において,  $a_n = \frac{1}{2} a_{n-1}$  すなわち  $2a_n = a_{n-1} \dots \dots \dots (*)$

さて,  $z_n = \log(e^{a_n} - 1) + \sum_{k=1}^n \log(e^{a_k} + 1)$  より,  $(*)$  を用いると,

$$\begin{aligned} z_n &= \log(e^{a_n} - 1) + \log(e^{a_1} + 1)(e^{a_2} + 1) \dots (e^{a_{n-1}} + 1)(e^{a_n} + 1) \\ &= \log(e^{a_1} + 1)(e^{a_2} + 1) \dots (e^{a_{n-1}} + 1)(e^{a_n} + 1)(e^{a_n} - 1) \\ &= \log(e^{a_1} + 1)(e^{a_2} + 1) \dots (e^{a_{n-1}} + 1)(e^{2a_n} - 1) \\ &= \log(e^{a_1} + 1)(e^{a_2} + 1) \dots (e^{a_{n-1}} + 1)(e^{a_{n-1}} - 1) \\ &= \log(e^{a_1} + 1)(e^{a_2} + 1) \dots (e^{2a_{n-1}} - 1) = \log(e^{a_1} + 1)(e^{a_2} + 1) \dots (e^{a_{n-2}} - 1) \end{aligned}$$

同様に繰り返すと,  $z_n = \log(e^{a_1} + 1)(e^{a_1} - 1) = \log(e^{2a_1} - 1) = \log(e - 1)$

よって,  $z_n$  は  $n$  によらない定数である。

(3)  $S_n = \sum_{k=1}^n \log\left(\frac{e^{a_k} + 1}{2}\right)$  とおくと,  $S_n = \log\left(\frac{e^{a_1} + 1}{2}\right)\left(\frac{e^{a_2} + 1}{2}\right) \dots \left(\frac{e^{a_n} + 1}{2}\right)$  となり,

$$\begin{aligned} S_n + \log\left(\frac{e^{a_n} - 1}{2}\right) &= \log\left(\frac{e^{a_1} + 1}{2}\right)\left(\frac{e^{a_2} + 1}{2}\right) \dots \left(\frac{e^{a_n} + 1}{2}\right)\left(\frac{e^{a_n} - 1}{2}\right) \\ &= \log\frac{(e^{a_1} + 1)(e^{a_2} + 1) \dots (e^{a_n} + 1)(e^{a_n} - 1)}{2^{n+1}} \end{aligned}$$

すると, (2) より,  $S_n + \log\left(\frac{e^{a_n} - 1}{2}\right) = \log\frac{e-1}{2^{n+1}}$  となり,

$$\begin{aligned} S_n &= \log\frac{e-1}{2^{n+1}} - \log\left(\frac{e^{a_n} - 1}{2}\right) = \log\frac{e-1}{2^n(e^{a_n} - 1)} = \log(e-1) + \log\left(\frac{a_n}{e^{a_n} - 1}\right) \\ &= \log(e-1) - \log\left(\frac{e^{a_n} - 1}{a_n}\right) \end{aligned}$$

また, (1) から  $\lim_{t \rightarrow 0} \frac{e^t - 1}{t} = 1$  となり, また  $n \rightarrow \infty$  のとき  $a_n \rightarrow 0$  から,

$$\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{e^{a_n} - 1}{a_n} = 1$$

よって,  $\sum_{k=1}^{\infty} \log\left(\frac{e^{a_k} + 1}{2}\right) = \lim_{n \rightarrow \infty} S_n = \log(e-1) - \log 1 = \log(e-1)$  である。

### [解説]

無限級数の和を求める問題です。(1)と(2)の結果が(3)にうまく繋がっています。ただ, (2)の記述はやや雑ですが。